



⑤⑥は①②④と座標系が異なります

面積が1,500km²以上ある氷山 2026年1月9日現在

名前	長さ (km)	幅 (km)	緯度	経度	面積 (km ²)	更新日	移動距離
A23A	48	40	-53.07	-40.37	1,182.07	01/02/2026	35km
	48	40	-52.98	-40.88	1,035.06	01/09/2026	5 km/日
A81	51	46	-64.88	-58.17	1,421.50	01/02/2026	7km
	51	46	-64.87	-58.32	1,421.50	01/09/2026	1 km/日
B22A	53	46	-70.45	-178.8	1,575.67	01/02/2026	3km
	53	46	-70.46	-178.7	1,575.67	01/09/2026	0.5km/日
D15A	92	40	-66.63	81.92	3,070.99	01/02/2026	移動ナシ
	53	40	-66.63	81.92	3,070.99	01/09/2026	

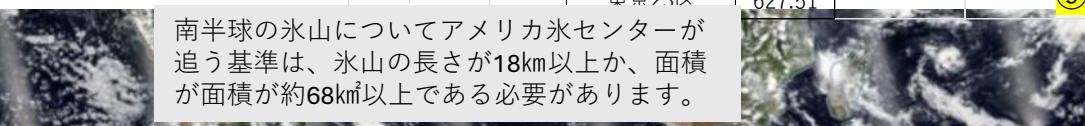


溶けかけているといつてもまだまだA23Aは大きい氷山です。

今しばらくA23Aの様子を追ってみましょう。衛星データが利用できます。

南半球の氷山についてアメリカ氷センターが追う基準は、氷山の長さが18km以上か、面積が面積が約68km²以上である必要があります。

B22Aは2002年3月にスウェーデン氷河から産まれ移動開始しましたが、約53kmの場所で2012年にほとんど動けなくなっていました。2022年10月24日に再び動き始めています。移動速度は遅いです。



B22A

A81はイギリスのハレー南極基地近くにあった氷山で、YACかわら版337・371に記載したことがあります。

A81

A23A

D15Aは昭和基地のはるか東方で生まれました。YACかわら版605に記載したことがあります。

2000 km